

国語 第5学年 かぼちやのつるが / われは草なり

検討会の想定問答

指摘 1: この単元で身に付けることは何か。

返し: 詩の比喻や反復などの表現と受ける印象を結び付ける。技法名を当てるだけにせず、その表現を別の言い方に替えたときの違いを考える。C(1)エの学習として、表現の箇所、自分の言い換え、印象の違いとその理由を記した鑑賞メモ。

指摘 2: 何をもって学習できたと判断するか。

返し: おおむね満足できる状況は、詩の表現の効果を考え、言葉を根拠に自分の考えをまとめているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)エの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3: 活動が楽しいだけで終わらないか。

返し: 表現の箇所、自分の言い換え、印象の違いとその理由を記した鑑賞メモを残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)エに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4: つまづく児童にはどんな支援をするか。

返し: 技法名が分かれば読み終わりと思う、本文にない比喻があると決める。これに対して、実際の教科書本文で表現を確認、比喻や反復が見られる箇所だけを対象にする。自分の言葉に言い換えた文と原文を読み比べ、意味の共通点と受ける印象の違いを話す。〔知識及び技能〕(1)クとC(1)エを切り離さず扱う。

指摘 5: 考えが違ったときはどう扱うか。

返し: 教師の結論を選ばせず、「その言い方があることで、どんな印象が強くなっていますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)エに関わる根拠を話し合う。

指摘 6: 本時の評価で態度まで決められるか。

返し: 本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7: 端末がない学級でもできるか。

返し: 表現の箇所、自分の言い換え、印象の違いとその理由を記した鑑賞メモは紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)エの評価の代わりにしない。

指摘 8: 時間が足りないとき、どこを残すか。

返し: 総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)エで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9: この教材で、誤りやすい点をどう確かめるか。

返し: 技法名が分かれば読み終わりと思う、本文にない比喻があると決める。実際の教科書本文で表現を確認、比喻や反復が見られる箇所だけを対象にする。自分の言葉に言い換えた文と原文を読み比べ、意味の共通点と受ける印象の違いを話す。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「その言い方があることで、どんな印象が強くなっていますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)エに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

